

Zengakuren International Department Report 全学連 国際部通信

訪韓報告号 Special Issue



上：民主労総の全国大会には全国から4万人が結集し、ソウル市庁前広場を埋めつくした（11月13日）

次は12・10日比谷へ!

「がんばろう! さようなら
原発 1000万署名」
大集会&デモ

12月10日(土) @ 日比谷野外音楽堂

13:30 ~ 集会・パレード



一足早く着いた東北大グループは不当解雇撤回などを求めて闘う全国学習誌産業労組・才能教育支部（上）、公務員労組（下）の闘争現場を訪問し、学生団体とも交流しました。

訪韓スケジュール

- 12日 全国学習誌産業労組・才能教育支部の集会へ
公務員労組訪問
全国労働者大会前夜祭
- 13日 マソク烈士墓地訪問
チョンテイル烈士精神継承・全国労働者大会
- 14日 韓日理念交流会
- 15日 帰国

斎藤委員長、石田・大森副委員長を先頭に、東北大学や京都大学、広島大学などから10人以上が参加しました。



前夜祭



左：前夜祭では、外国人労働者を組織する民主労総・移住労組のテントにおじゃまし、組合員の方々と交流。どの仲間も「地震と原発事故で本当に心配したけれど、今年もよく来てくれたね!」と、全学連の訪問を心から喜んでくれました。

右：「非正規職撤廃」と並んで人目をひくのは「韓米FTA反対」のプラカード



全国労働者大会

今年は全国労働者集会に先立って各労組が産別ごとに前段集会を実施。それぞれがデモで本会場のソウル市庁前に結集してくるというかたちで始まりました。



マソク烈士墓地訪問



13日の午前中にはチョンテイル烈士やその母であるイソソンさんが眠るモラン公園のマソク烈士墓地へ。実際にここに葬られている烈士の友人だったという方が思いをこめて解説をしてくださいました。烈士たちの存在はこうして闘う労働者ひとりひとりの胸に刻まれ、「自分たちは誇りある労働者だ」という精神、そして闘いのエネルギーになっているそうです。



左：全学連から檄布を贈呈



右：民主労総の仲間が理念交流前に労働歌を披露

韓日理念交流会

左：キリユン電子労組のパクさんと 右：「日本労働運動史」講師は伊藤晃さん、通訳は金元重さん



訪韓闘争に参加して - 初参加の仲間から

韓国では、韓米FTAを強行しようとする国会に、これを阻止するべく労働者、農民、学生を先頭にデモを行い権力との衝突があったり、近年増加している非正規労働者や整理解雇撤廃闘争のキムジンスクさんの309日間にも及ぶ闘争の勝利などもありましたが、新自由主義による攻撃は激しく、組織の拡大や労働者階級の強く、幅広い結びつきが必要であることなど抱えている課題は同様で、これからの闘いがお互いに重要だと感じました。(広島大学1年生)

全学連 (全日本学生自治会総連合)

HP : <http://www.zengakuren.jp/wp/>
Mail : intl-solidarity@hotmail.co.jp